



あれはどうなった？

# 狩勝高原園地の再整備は？

年度別事業内容表（時系列）

年度	実施内容	決算額（千円）
2 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基本構想策定               <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の観光客入込対策、狩勝高原の魅力を再発信するため町民を交えたワークショップ開催。その中で「ガーデン街道」などキーワードが出された。</li> <li>・ワークショップ開催（7月2回、12月1回）</li> </ul> </li> </ul>	再整備調査 2,310 ハーブ畑造成 50
2 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基本構想策定               <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート、ワークショップの結果、再整備をしても課題が残ると判断された。よって早急に進めず、試験的取り組みをしながら町民の関心を育てていくこととなった。</li> <li>・ワークショップ開催（9月、11月）</li> </ul> </li> </ul>	再整備調査 6,300
2 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎園地活性化プロジェクト               <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅の生育調査、管理講習会、宝探し、ダウンヒル、ノルディック遊具貸出しなど常駐プログラム</li> <li>・ワークショップ開催（2月）</li> <li>・町民説明会（3月）</li> </ul> </li> </ul>	プロジェクト 10,647 補助 440
2 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎園地活性化プロジェクト               <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅園管理、剪定、鉄道模型整備、常駐プログラム</li> <li>・町民説明会（4月）</li> </ul> </li> </ul>	プロジェクト 9,975 整備 861 補助 4,300
2 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎園地活性化プロジェクト               <ul style="list-style-type: none"> <li>・庭園鉄道公開、常駐プログラム、フラワーレンジャー募集</li> </ul> </li> </ul>	プロジェクト 10,260 補助 3,710
2 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎実施設計               <ul style="list-style-type: none"> <li>・庭園鉄道を含むガーデン整備</li> <li>・プロジェクト報告書（全58ページ・3月）</li> </ul> </li> </ul>	調査・測量 6,210 実施設計 19,904 補助 925

みなさんは狩勝高原園地にどのような印象をお持ちでしょうか。町は平成22年より狩勝高原園地（狩勝峠3合目付近のエコトロッコ、さほろ酒造、梅園周辺）を、新得らしい魅力ある場所に再整備するために取り組みを始めた。

左記の年度別事業内容表（時系列）をご覧いただければわかるように、実に7年が過ぎている。この間、どのような取り組みが行われ、議論されてきたの

だろうか。基本構想が策定される前年、平成21年に上川、旭川、美瑛、富良野、そして十勝を結ぶ約250kmの道が、『北海道ガーデン街道』と命名され、現在は街道上に8つのガーデンが登録されている。

ガーデンニングブームとあいまって、現在は本州からだけでなく、海外からも多くの観光客を集めるようになった。

十勝全体の観光客数を見るに、去年は台風の影響もあり減

少しだが緩やかに増加し、夏季は比較的安定した入り込みを見せているといえるだろう。

しかし新得町で見ると、12月から3月まではスキー客で入込客数は伸びているが、4月から11月は低めの数字となっている。（表1）

このような事から、狩勝高原を庭園と鉄道を軸としたガーデン施設に再整備する計画が進んできた。

しかし、平成23年に行われた町民に対するアンケートやワー